

11. 人口動態の推移

平成5年人口動態調査によれば、出生数が53,352人で前年より224人増加、出生率(人口千対)は9.3人と昨年同様明治45年以降最低の率を記録している。死亡数は、668人増加して32,000人で、死亡率(人口千対)は、5.6で前年を上回った。

出生率と死亡率の年次推移



年	出生数	死亡数	死産胎数	婚姻数	離婚数	自然増加 (出生-死亡)	人口1000人につき	
							出生率	死亡率
明治45年	43,681	28,783	5,232	10,570	1,438	14,898	31.4	20.7
大正 5	45,505	34,434	4,504	11,151	1,374	11,071	32.1	24.1
9	48,520	38,218	4,195	12,708	1,346	10,302	36.3	28.6
15	50,893	30,002	3,551	12,929	1,080	20,891	36.0	21.2
昭和 5	47,720	29,752	3,167	11,621	1,023	17,968	32.5	20.2
10	50,917	29,062	2,819	12,712	944	21,855	32.9	18.8
15	46,393	29,044	2,018	13,772	948	17,349	29.2	18.3
20	40,533	51,357	-10,804	20.6	26.1
25	57,451	25,777	4,360	17,256	1,650	31,674	26.9	12.1
30	43,764	19,293	3,890	16,322	1,352	24,471	19.8	8.7
35	39,563	19,209	3,693	20,475	1,244	20,354	17.2	8.3
40	54,170	19,739	3,857	26,538	1,638	34,431	20.0	7.3
45	72,481	21,051	3,894	35,364	2,596	51,430	21.5	6.3
50	77,416	21,768	3,385	36,867	3,937	55,648	18.7	5.2
55	65,554	22,965	2,617	31,760	5,426	42,589	13.8	4.8
60	60,719	24,891	2,408	30,424	6,858	35,828	11.8	4.8
平成 2	53,356	28,857	1,993	33,626	7,092	24,499	9.6	5.2
5	53,352	32,000	1,800	38,453	8,735	21,352	9.3	5.6

注) この表は人口動態調査による。人口動態調査は明治32年から実施されたもので、各市町村が戸籍法による届出及びその他の関係書類を資料として作成した人口動態票を国において分類集計したものである。

なお、この表の数は日本人の本県内に常住地を有するものである。出生、死亡、死産、婚姻、離婚はその年に発生した数である。昭和15年の死亡数には戦死者、戦病死者は含まれない。

資料 昭和24年までは衛生部「衛生年報」、昭和25～44年は厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計」、昭和45年以降は衛生部「千葉県衛生統計年報」